

コメント及び回答案

日付:	規格番号: C60721-3-1	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	169	5.2	表 1 注 e)	ed	注 a)と同様に“環境パラメータ”を記載する	雨温度は、b)及びj)を → 雨温度は、 <u>環境パラメータ b)及びj)</u> を	対応国際規格の記載“high air temperature b) and solar radiation j)”に従って、“高温 b)及び日射 j)”といたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメント及び回答案

日付:	規格番号: C61326-1	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
岩本	104				エミッション, イミュニティ性能というカタカナ言葉は、本業界関係者には、それぞれ「電磁障害」「電磁感受性」のこととわかりやすいが、一般には分かりにくいのではないのでしょうか。特にエミッションは、例えば他の業界では、光の「放出」のように放出現象のことをと連想させます。一応、JIS規格であることを考えると、専門外の人にも何のことかわかるように、最初にここでの「エミッション」, 「イミュニティ」の意味が、「電磁障害」「電磁感受性」のことであることを説明があった方が良く考えますが、いかがでしょう。		原案どおりとします。 この規格の読書には、「エミッション」, 「イミュニティ」が理解し易いです。 また、JISCのJISのDBでも「電磁感受性」は7件、「イミュニティ」は281件です。
岩本		表1など			表1など きょう体→きょう体（筐体）と漢字を加えておかなくてよいですか？		原案どおりとします。 Z8301 （規格票の様式及び作成方法）の附属書Hに次のように規定されています。 H.2.2 漢字 常用漢字表にない漢字、及び常用漢字表にある漢字でも音訓欄に読みが掲げられていない漢字は、通常、その文字を用いず、 <u>仮名書き</u> とする。 ただし、仮名書きでは意味が分かりにくい場合には、仮名書きの後に括弧を付けて、表外漢字などを示してもよい。 例 …、きょう（筐）体

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメント及び回答案

日付:	規格番号: C61326-1	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	106-108	箇条 1	第 5 段落	Ed	三つの細別の位置がおかしい（現在の位置は細別 の下の細別の位置） 規格内で細別の記号を揃える（規格内で他多数）	・細別の位置を調整する（75～78 行目と同じ位置） ・細別記号を“・” → “—” にする	拝承
加藤	348	6.2	表 2	Ed	3 V/m の記載の間違い？	きょう体の放射無線周波電磁界の試験値欄 (80 MHz～1 GHz, <u>3 V/m</u> (1.4 GHz～6 GHz)) → (80 MHz～1 GHz, 1.4 GHz～6 GHz)	閉じカッコの抜けです。次に修正します。 10 V/m (80 MHz～1 GHz), 3 V/m (1.4 GHz～6 GHz) a) 放射無線周波電磁界の試験電界強度(80 MHz～1 GHz)は基本的電磁環境(表 1)では 3 V/m、工業的電磁環境(表 2)では 10 V/m です。
加藤	350	6.2	表 3	Ed	“/” を全角にする	ポート欄一番下 入出力信号/管理 → 入出力信号／管理	拝承
加藤	415	7.2	第 3 段落	Ed		CISPR 11:2015/AMD1:2016/AMD2:2019 → CISPR 11:2015+AMD1:2016+AMD2:2019	拝承
加藤	432	箇条 8	第 2 段落	Ed	“もし” を用いない	(もしあれば) → (ある場合)	拝承
加藤	462	附属書 A	表 A.1 注 a)	Ed	スペース削除	試験_を行う場合は → 試験を行う場合は	拝承
加藤	472	B.1	第 1 段落	Ed		しかしながら → しかし	拝承
加藤	496	B.3	第 3 段落	Ed	“電磁環境” を省略しない (497 行目のように記載)	基本的, 工業的及び管理された → 基本的電磁環境, 工業的電磁環境及び管理された電磁環境	拝承
加藤	509	B.3	注記 2	ed	説明なのか、要求なのか判り辛い	IEC Guide 107 に従う。 → IEC Guide 107 に従っている。	拝承

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメント及び回答案

日付:	規格番号: C61326-2-1	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
岩本		箇条 3			<p>エミッション, イミュニティ性能というカタカナ言葉は、本業界関係者には、それぞれ「電磁障害」「電磁感受性」のこととわかりやすいが、一般には分かりにくいのではないのでしょうか。特にエミッションは、例えば他の業界では、光の「放出」のように放出現象のことをと連想させます。一応、JIS 規格であることを考えると、専門外の人にも何のことかわかるように、最初にここでの「エミッション」, 「イミュニティ」の意味が、「電磁障害」「電磁感受性」のことであることの説明があった方が良く考えますが、いかがでしょう。</p>		<p>原案どおりとします。</p> <p>この規格の読書には、「エミッション」, 「イミュニティ」が理解し易いです。</p> <p>また、JISC の JIS の DB でも「電磁感受性」は 7 件、「イミュニティ」は 281 件です。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメント及び回答案

日付:	規格番号: C61326-2-1	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	94 95	箇条 3		Ed	箇条のタイトルを C61326-1 と合わせなくてよい か？	用語及び定義 → 用語, 定義及び略語	対応国際規格どおりで、問題 ありません。 C61326-2-1 では C61326-1 の “略語”を使用していません。
加藤	127	5.3.103		Ed	<p>“又は”の前後の繋がりが分からない</p> <p>修正案は“通常の使用でエミッション測定”と “エミッション測定では解析モード、イミュニテ ィ試験では収集モードに設定”が“又は”で接続 されていると仮定したもの。どう解釈させたいの かを踏まえて修正を</p> <p>原案 ロジックアナライザは、通常の使用で、エミッシ ョン測定又はイミュニティ試験の結果が最悪にな るモードが分かっている場合、エミッション測 定ではデータ解析モード、イミュニティ試験では 連続データ収集モードに設定する。</p>	<p>通常の使用で、<u>エミッション測定又はイミュニ ティ試験の</u></p> <p>→ 通常の使用でエミッション測定、<u>又はイミ ュニティ試験の</u></p>	<p>原案の文章は、次の 2 文を一 つにしています。エミッシ ョン測定とイミュニティ試験と は同時には行えません。</p> <p>1.ロジックアナライザは、通 常の使用で、エミッション測 定の結果が最悪になるモード が分かっている場合、（エ ミッション測定では）デー タ解析モードに設定する。</p> <p>2.ロジックアナライザは、通 常の使用で、イミュニティ試 験の結果が最悪になるモード が分かっている場合、（イ ミュニティ試験では）連続デ ータ収集モードに設定する。</p> <p>原案どおりで問題ないと思 えます。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。